



Green Literacy

第11回 NGO/NPO・企業環境政策提言

# 映像共有プラットフォームを活用した 環境教育とメディアリテラシー教育の推進

～ ICTの進化に適応したアウトプット型環境教育手法の確立～

株式会社 TREE  
(Green TV Japan)



### 地球市民としての新しい環境教育手法の必要性

- ICTの進化と本格的ネット社会による情報過多の懸念
  - ➔ 多くの環境情報から知識だけではなく、本質を理解し行動に繋げるスキルが求められる
- 社会インフラに合わせた情報発信と情報共有力の向上
  - ➔ 次世代のICT(電子教科書等)の進化に合わせたメディアリテラシーとスキルが求められる
- 地球市民としてのグローバルコミュニケーションやリーダーシップの課題
  - ➔ 地域の情報を世界に発信する国際的な環境コミュニケーション力が重要視される

## 環境リテラシー × メディアリテラシー = Green Literacy

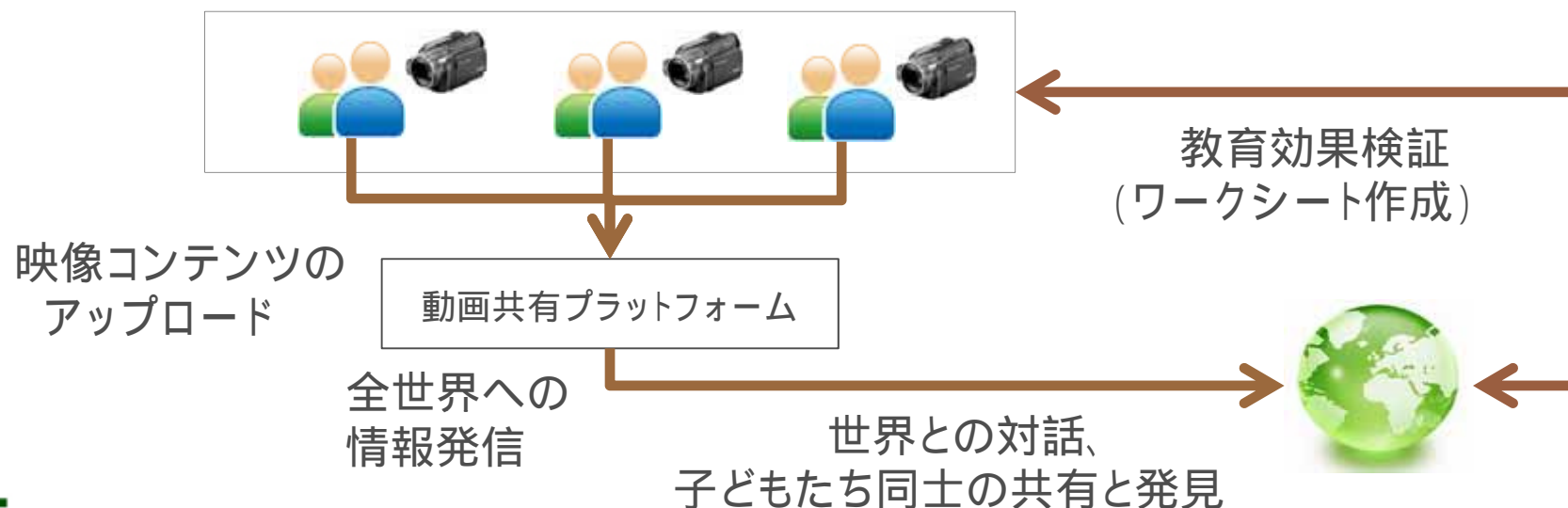
- 日本における持続可能な地域社会や経済を見据えた本質的な自然資本の理解と、行動を促すためのICTを活用した環境教育プログラムを開発する
- 環境教育の推進と共に、本格的ソーシャルメディア社会に適応したグリーンリテラシーを養う
- ESDの10年等、持続可能な開発のための教育を子ども自らが考え発信し、世界と対話する社会インフラの整備を行う

# 教育プラットフォームの構築と教育手法の確立

## 全体の仕組み

### 事前オリエンテーション

- ・Green TV が保有する世界の様々な環境映像の視聴とワークショップの開催
  - ・メディアリテラシー教育、ICTインストラクション教育の開催(民間企業による支援)
- 日本全国の子どもたちによる国内の自然資本(地域の自然や文化)の映像収録  
映像コンテンツの編集や翻訳作業(NPOやボランティアによる支援)



## 新しい教育手法の確立と地球市民としての意識醸成

1. アウトプット型環境教育手法の確立と新しい学習教材としての利用と普及
2. 子どもたちによる日本の自然資本の価値の再発見と地球市民としての意識の醸成
3. 新しい環境教育を通じた、ITリテラシーやメディアリテラシー格差の軽減
4. 地域社会とのコミュニケーション促進による絆の創造

## 今後の展開方法(案)

1. 地域における学習モデルの検証(和歌山県、石川県、神奈川県等の候補)
2. 小中学生を対象とした実施(場合によっては地域の大学生と協働)
3. 実証実験結果の検証
  - ・ワークショップ形式による問題意識の共有と情報発信の重要性の理解
  - ・先生や講師における学習プロセスの理解と課題の検証、評価
  - ・ICTを活用した教育効果の評価(将来の電子教科書や電子ボードを活用した教育メソッド等)
4. 全国展開への課題解決、プログラムの開発要素のとりまとめの検討
5. 映像コンテンツの有効性と活用法の開発(将来は政府主導のもとで、環境教育映像コンテスト開催)